

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

※令和7年度利用者無し

○事業所名	ふくろうの家		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		2025年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		2025年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日、休校日に様々な施設に出かけ体験・経験を積むことが出来る	静と動の活動で空間（部屋）を分けて使用している	地域にある施設を調べ、出かけ先の選択肢を増やす
2	毎日の活動の中に児童が楽しんで参加出来る集団活動を取り入れている	毎日の集団活動の内容が固定化されないよう意識工夫している	高学年の児童に活動の補助を行ってもらったり話し合いの場を増やしたりすることで協調性を育めるようにする
3	同年代の利用者が多い為共通の話題や遊びをより広く展開することが出来る	興味関心がある題材を児童から聞き取りを行い教材や玩具を提供している	個々だけでなく集団で楽しめる玩具（トランプ等）を用意しルールがある遊びを楽しめるようサポートする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流の場が少ない	地域での活動について調査が不十分	様々な地域イベント等を調査し利用児童が地域の方と交流することが出来る機会を増やす
2	身体を動かし広々と活動できるスペースがない	賃貸物件で制約があるため	課題そのものの解決は難しい為活動ごとに部屋を分け利用者が過ごしやすいよう工夫を行っている
3	緊急時、保護者の方へ一斉に情報発信することが出来ない	情報発信が紙媒体、電話のみの為	迅速にお知らせ出来るようIT化を検討していく